



現評ニュース

自治労都本部現業評議会

2023年1月31日発行

2023年度・第2号

発行責任者・議長 吉野徹也

定年延長を踏まえた人員確保や 労働安全衛生を取り組もう！



自治労関東甲地連現業評議会 2023現業活動者集会

1月21日(土)～22日(日)
日本教育会館



吉野議長あいさつ（関東甲現評議長）
新型コロナウイルスの影響もあるが、
対面での開催を決定した。春闘につ
いては物価高に合わせた賃上げが言わ
れているが、まだ大手の話しか聞こえ
てこない。現業職員が少なくなってい
る単組もあるが、引き続き現業・公企
統一闘争に結集し、新規採用を勝ち取
ろう！！

自治労関東甲地連現評の現業活動者集会が開催され、都本部からは9単組・46名
が参加した。
来賓は関東甲地連より染議長、自治労本部より吉村現業局長がお見えになり、あい
さつがあった。
全体集会では、自治労本部の森本総合労働局長より講演があり、その後各職種に分
かれて分科会が行われた。
各分科会において分科会を通して様々な意見交換がされている。職場活性化のため
には、やはり他単組との交流は必要不可欠である。新規採用に向けた取り組みと並
で大変重要な取り組みである。今後とも現評活動を強化していこう！

来賓あいさつ



関東甲・染議長



吉村現業局長



関東甲各県より139
名が参加し、対面開催
による「ひざを突き合
わせた議論」を行った。



基調講演 『定年延長に関わる労働安全衛生について』
自治労本部 森本総合労働局長

職場にある様々なリスクを見つけて、それにより起こりうる労働災害の重大さを見積もり、大きいものから順に対策を講じていく。ヒヤリハット事例の収集も必要。そして健康管理と業務マッチングに向けた面的な取り組みが、積極的に労働組合が積ることは、当然である。



赤池常任幹事

用務分科会は参加者25名でグループに分かれ、正規職員の役割とは、という内容で議論しました。神奈川県相模原市のグループ体制で、正規職員が3校から4校を担当し運営しているなどの報告がありました。久しぶりの関東甲の分科会でしたが、とても有意義なものとなりました。



各分科会報告



遠藤給食部会幹事

給食部会は参加者24名で、SDGsについて自治労本部氷室政策局長よりご講演をいただき、江戸川区のSDGsの取り組み動画を視聴しました。グループワークではフードロスや地産地消など給食職場に直結したSDGsの取り組みについて意見交換をしました。食育の取り組み等、学校教職員と連携を図り参画していくなど、積極的な意見が多くあり、大変有意義な分科会でした。



相馬常任幹事

一般現業分科会は、初日吉村現業局長より定年引上げにおける一般現業の課題について講演をいただき、二日目に19名でグループ討議を行いました。吉村局長の「安全衛生委員会を活用し職場環境と労働条件、そのための新規採用を当局に認めさせることが重要である！」との熱い講演を聞き、様々な意見があり、有意義な分科会となりました。

